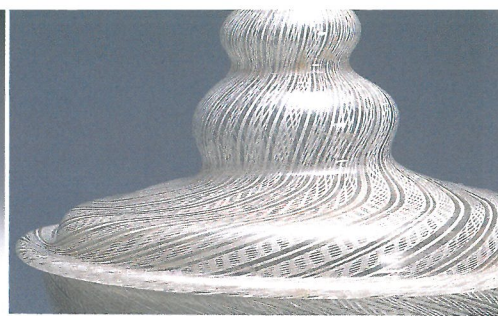




1



2



3



4



5

# 魅惑の ヨーロッパガラス

2007年12月1日[土]~2008年3月3日[月]

ヴェネチアのガラスから、ボヘミアのガラス、イギリスのクリスタルガラス、そしてフランスのアル・ヌーヴォーのガラス、北欧の現代ガラスまで、ヨーロッパの華麗なガラス器の歴史をご紹介します

開館時間◆9:00~16:30(入館は16:00までに)

休日◆12/18(火)、12/29(土)~1/1(火)、1/15(火)、2/19(火)

観覧料◆一般 800円(20名以上団体 700円) 中学生以下無料

主催◆七尾市、財団法人能登島ガラス美術館振興財団

後援◆七尾市教育委員会



石川県能登島ガラス美術館

NOTOJIMA GLASS ART MUSEUM

〒926-0211 石川県七尾市能登島向田町125-10

TEL 0767-84-1175 <http://www.city.nanao.lg.jp/glass/index.html>

1. 昆虫に書かれた花瓶 ドーム兄弟 19世紀末 イセ文化基金所蔵

2. レース・グラス蓋付大杯 ヴェネチア 16世紀 3. ゴールドサンドイッチグラス狩猟文ワイングラス ボヘミア 1730年頃 4. カットガラス置物 アイルランド 1780年頃 5. エナメル彩狩猟文リキュールセット スペイン 19世紀 2~5は、石川県立美術館所蔵

# 魅惑のヨーロッパガラス

2007年12月1日[土]～2008年3月3日[月]

現在知られているヨーロッパの華麗なガラス器の歴史は、15世紀から17世紀にかけて華々しく登場したヴェネチアのガラスに始まります。ヴェネチアは、古代ローマのガラス製造技術を継承、発展させたイスラムの国々との交易により、その高度な技術を導入し、ヨーロッパのガラス工芸の基礎を築きました。

その後、ヨーロッパ諸国は技術を競い合うように、各国ごとに特徴のあるガラス器を開発し、17世紀には、ボヘミアやイギリスで透明度の高いクリスタルガラスが、19世紀末には、フランスのアル・ヌーヴォーのガラスが誕生しました。

本展では、現在も人々を魅了してやまないヨーロッパのガラス器約50点をガラスの歴史を通してご紹介します。



青縞文タンブラー  
オランダ 16世紀  
石川県立美術館所蔵



エナメル彩選挙侯文フンペン ドイツ  
1606年 石川県立美術館所蔵



エナメル彩水注 オーストリア ロプマイヤー社  
1870年頃 石川県立美術館所蔵



水差し イタリア  
エッフェ・ドゥエ工房 1990年頃  
金沢美術工芸大学所蔵



チューリップグラス スウェーデン  
オレフォス社 1982年頃  
金沢美術工芸大学所蔵



花器 デンマーク フィン・リンゴー  
1985年 金沢美術工芸大学所蔵

## ◆関連展示(会期中)

- A 展示室 / 「ヨーロッパに影響を与えたアジアのガラス」  
ガラスの変遷コーナー / 「日本のガラス」
- B 展示室 / 「サルヴァドール・ダリとドーム社のガラス」  
& 「ヨーロッパの現代ガラス」
- C 展示室 / 「ピカソなど20世紀の芸術家たちの原案による  
ヴェネチアの現代ガラス」

## ◆ギャラリートーク

12月15日(土)、1月12日(土)、2月16日(土) 14:00から  
当館学芸員による展示作品の解説を行います。

## ◆わくわくワークショップ

**ガラスの器を贈ろう! クリスマスプレゼント**  
12月22日(土)、23日(日) 10:00～11:30、13:30～15:30  
ガラスやガラス皿などに電動ルーターで模様を彫ります。  
参加費 200円/所要時間 40分から/申込み不要

## 透明おもちゃで遊ぼう!

1月2日(水)、3日(木) 9:30～15:30  
ビー玉転がしやガラスのパズルなどで楽しく遊みましょう。  
参加費 無料/申込み不要

## ガラスに描いて作ろう! オリジナル・グラス

1月19日(土)、20日(日) 9:30～11:00、13:00～15:00  
グラスやガラス皿に絵付けをします。  
参加費 200円から/所要時間 40分から/申込み不要

## ガラスの器で楽しむ! バレンタインスイーツ

2月9日(土)、10日(日) ①10:00～ ②14:00～  
2月1日までに申込み要  
ガラス器にチョコやクリームで飾りつけ、ガラススイーツを作ります。  
参加費 500円から/所要時間 約90分

## ◆次回展覧会のご案内

特別展「藤田喬平 — 雅の夢とヴェニスの花」  
2008年3月8日(土)～5月11日(日)

日本を代表する世界的なガラス作家 藤田喬平氏の  
1964年から2004年まで40年間の足跡を追い、  
藤田氏が生涯かけて追求したガラス芸術をご紹介します。



飾筒「湖上の花」 2003年 個人蔵

## ◆石川県能登島ガラス美術館へのアクセス

- 電車・バス JR和倉温泉駅から能登島交通バス「能登島臨海公園行き」  
に乗り、約30分。「美術館前」下車すぐ。
- 車 能登有料道路徳田大津JCTを経由し、田鶴浜料金所を出て  
和倉温泉方面に左折、道なりに直進し、約25分。
- 飛行機 能登空港から「ふるさとタクシー」で約1時間(片道1,300円)
- 問合せ先 TEL 0767-84-1175 FAX 0767-84-1129  
<http://www.city.nanao.lg.jp/glass/index.html>